



終わりになき防災施策の強化に向けて ～津市地域防災計画（平成24年度修正）を策定～

平成23年3月11日に発生した東日本大震災の甚大な被害、教訓などを踏まえ、津市では平成24・25年度を災害対応力強化集中年間と定めて、防災対策を強化充実する取り組みを進めています。その内容については本紙平成24年9月1日号でもお知らせしましたが、今回は2回の防災会議を経て修正された、津市地域防災計画の内容について、津市PRキャラクターのシロモチくんとゴーちゃんが分かりやすく解説します。

ねえねえ、シロモチくん。今度、新しい防災計画ができたって聞いたんだけど、前の計画とどう違うの？詳しく教えてほしいな。

今度できた地域防災計画は、東日本大震災を教訓に、これまで津市が取り組んできた防災対策を反映させて、前の計画の内容を修正したものなんだ。

そうなんだ。どのくらい修正されたの？

市はもちろん、防災に関係する機関や市民の皆さんの意見も取り入れて、371項目の修正がされたんだよ。

そんなにあるんだ。

今回の修正で、南海トラフ巨大地震の被害想定や津波浸水予測図が追加されたんだけ

津波避難ビルとして整備を予定されている
白塚団地3号館



ど、これまでと違って、津波が堤防を越えてもっと内陸部まで来るともあるという結果になったんだ。

もしそんな津波が来たら、どうすればいいの？